メッセージ　1

アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神を認識し経験して、神のイスラエルとなる

聖書：創 28:13．33:20．出 3:6，14-15．
使徒 3:13．ガラテヤ 6:16．Ⅰテサロニケ 1:1

Ⅰ．わたしたちの神は、三人の特別な人物（アブラハム、イサク、ヤコブ）の神です。これは、彼が三一の神であることを暗示します――出 3:15．**マタイ** 28:19．**Ⅱコリント** 13:14：

A．アブラハム、イサク、ヤコブは、イスラエルの国の基礎です。彼らがいなければ、イスラエルの国はなかったでしょう――出 3:15-16：

1．神の民は、アブラハム、イサク、ヤコブの経験を通して神の民となりました。彼らの経験は、最終的に彼らを神の民イスラエルとならせました。

2．わたしたちはみな、アブラハム、イサク、ヤコブの要素を持つ必要があります。これらの要素がないなら、わたしたちは神の民、神のイスラエルとなることはできません。

B．創世記の中で、アブラハム、イサク、ヤコブの記載は重なっています。創世記は彼らを、三人の分離した個人としてではなく、一人の団体の人の構成要素として描写しています：

1．アブラハムの経験は、唯一の源である父なる神に対する経験を表徴します。父なる神は人を召し、人を義とし、人を装備して、信仰によって生きさせ、彼との交わりの中で生きさせます――12:1．15:6．第 17 章―第 18 章．19:29．21:1-13．22:1-18。

2．イサクの経験は、子なる神に対する経験を表徴します。子なる神は人を贖い、人を祝福して、人に彼のすべての豊富を受け継がせ、彼のあふれるばかりの生活を享受させ、平安の中で生きさせます――1-14 節．25:5．26:3-4，12-33。

3．ヤコブ（ヨセフを伴う）の経験は、父なる神に対する経験を表徴し、父なる神は人を愛し、人を選びます（マラキ 1:2．ローマ 9:10-13）。また霊なる神に対する経験を表徴し、霊なる神はすべてを共に働かせて彼を愛する者の益とならせ、人を造り変え、人を神聖な命において円熟させます。それは、人がすべての人を祝福し、全地を支配し、命の供給としての子なる神をもって、すべての人を満足させることができるためです――創 27:41．28:1―35:12．第 37 章．第 39 章―第 49 章．ローマ 8:28-29。

Ⅱ．わたしたちは、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神を認識し経験する必要があります：

A．アブラハムは、神を唯一の源として、「無から有を呼び出される」方として信じました――ローマ 4:17：

1．神の目標は、神の時にしたがって、また神の力を通して達成されなければなりません――創 17:17，19，21。

2．神がアブラハムの上で特別な働きを行なったのは、神が御父であることが何を意味するのかを、アブラハムに見せるためでした――エペソ 4:6：

ａ．神を御父として認識することは、彼が源、唯一の開始者であること、またすべてが彼を源とすることを認識することです――マタイ 15:13。

ｂ．わたしたちはみな、神が御父であること、またすべてが彼から出て来ることを認識する必要があります――ローマ 11:36．Ⅰコリント 8:6．エペソ 3:14-16。

Ｂ．イサクは御子の最も良い表徴であり、彼においてわたしたちが見るのは、すべてが御父から来るということです――創 24:36．25:5：

１．創世記第 22 章の絵によれば、イサクは詳細にキリストを予表します。

２．イサクの原則は受ける原則です――25:5．Ⅰコリント 4:7：

ａ．子なる神の意義は、すべては受けたものであること、また何も彼によって開始されないことです――ヨハネ 16:15．17:10．5:19，30。

ｂ．イサクにおいてわたしたちが見るのは、すべてが御父から来るということ、またわたしたちの地位は受けることであるということです――創 26:12-13．ローマ 11:36．Ⅰコリント 4:7：

(1) イサクの、アブラハムとの関係は、受ける関係でした。イサクの神を認識することは、供給する方としての神を認識することです――創 24:36。

(2) 神は御父であり、すべては彼から出て来ます。わたしたちは子たちであり、わたしたちが持つすべては彼からです――Ⅰコリント 8:6．11:12 後半。

Ｃ．ヤコブはわたしたちに、聖霊について語ります。彼の経験は聖霊の働きを表し、彼の歴史は聖霊の管理（取り扱い）の予表です：

１．ヤコブの生涯は神の対処を表す生涯であり、ヤコブの神は対処の神です――創 31:38-41：

ａ．「ヤコブの神」という名称が暗示するのは、聖霊がどのようにヤコブを取り扱い、ヤコブの天然の命を対処して、キリストをヤコブの中へと構成し、ヤコブにおいてその霊の実を結んだかということです――ガラテヤ 5:22-23．ヘブル 12:11。

ｂ．わたしたちはヤコブの神を認識しようとするなら、その霊に彼の働きをわたしたちの中で行なっていただき、わたしたちの天然の命を対処して、キリストをわたしたちの中へと構成していただく必要があります。

２．ヤコブの歴史は、聖霊の管理の絵です――創 47:9．48:15-16 前半．ヘブル 12:9-11：

ａ．聖霊の管理は、聖霊がわたしたちの外側の環境において行なっていること、すなわち、彼がすべての人、事、ハプニングを案配していることを指しています。それらを通してわたしたちは取り扱われつつあります――ローマ 8:28。

ｂ．神は聖霊の管理を通して、わたしたちの中にある旧創造の要素を完全に取り壊し、新創造の要素がわたしたちの中で建て上げられるようにします。

３．神は聖霊の管理を通して、わたしたちの天然の命を対処し、キリストがわたしたちの中へと造り込まれ、わたしたちの中へと構成され、わたしたちの内に形づくられて、三一の神に団体的な表現を得させます――ガラテヤ 4:19．エペソ 3:16-21。

Ｄ．アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神は、エホバ、エロヒム、すなわち、自ら存在し永遠に存在する三一の神、永遠の大いなる「わたしはある」です――出 3:6，14．啓 1:4。

E．アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神は、復活の神です――出 3:6，15．マタイ 22:23-33．使徒 3:13。

F．アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神は、幕屋の神です。アブラハム、イサク、ヤコブはそれぞれ天幕に住みました。彼らは天幕に住んでいたとき、神の永遠の幕屋、すなわち新エルサレムの都を熱心に待ち望んでいました――出 40:34-35．創 12:8．13:18．26:17，25．33:18．35:21．ヘブル 11:9-10．啓 21:2-3。

G．アブラハムの神は義認の神であり（創 15:6．ローマ 4:2-3）、イサクの神は恵みの神であり（Ⅱコリント 13:14）、ヤコブの神は神聖な取り扱いを通しての造り変えの神です（3:18．ヘブル 12:5-11）。最終的に、ヤコブの神はイスラエルの神（創 33:20．出 5:1）、すなわち造り変えられたヤコブの神となりました。

Ⅲ．アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神を経験した結果は、神のイスラエル、すなわち三一の神にある召会です――創 35:10．33:20．**ガラテヤ** 6:16．**Ⅰテサロニケ** 1:1．**マタイ** 28:19：

A．神のイスラエルは真のイスラエルであり（ローマ 9:6 後半．2:28-29．ピリピ 3:3）、キリストにあるすべての異邦人の信者とユダヤ人の信者を含みます。彼らはアブラハムの真の子たちであり、信仰の家族であり、新創造にある人たちです――ガラテヤ 3:7，29．6:10，15-16：

1．真のイスラエル、霊的なイスラエルは、召会です――16 節．マタイ 16:18。

2．神の新約エコノミーにおいて、わたしたちは神の子たちまた神のイスラエルとされています。わたしたちの運命は、神の子たちとなって神を表現し、また王となって神の王国の中で王として支配することです――ガラテヤ 3:26．6:10，16．啓 5:10．21:7．22:5 後半．12:5 前半。

3．わたしたちは神のイスラエルとして、神を代行し、神の権威を行使し、地上で神の行政を執行して、神の定められた御旨を完成します――創 1:26, 28．ルカ 10:19．啓 12:5，7-11。

B．神のイスラエルは三一の神にある召会です――Ⅰテサロニケ 1:1．マタイ 28:19：

1．パウロは父なる神と主イエス・キリストにある召会について語るとき、実際に彼が意味するのは、召会が三一の神にあるということです――Ⅰテサロニケ 1:1．Ⅰコリント 1:2．12:4-6：

a．「父なる神」と「主イエス・キリスト」という表現は、いずれもその霊を暗示します。ですから、Ⅰテサロニケ第 1 章 1 節でその霊が暗示され理解されており、わたしたちは召会が三一の神にあることについて語ることができます。

b．聖書によれば、召会が単に神にあるというような事はありません。むしろ、召会は手順を経た三一の神にあります――マタイ 28:19．Ⅱコリント 13:14。

c．召会が父なる神と主イエス・キリストにあることが意味するのは、召会が手順を経た三一の神（父と子が命を与える霊と成った方）にあるということです――マタイ 28:19．エペソ 4:4-6．ヨハネ 14:20。

2．わたしたちが三一の神にある召会のビジョンを見るなら、このビジョンはわたしたちの思想、活動、生活全体を制御します――箴 29:18 前半．使徒 26:19。

©2026 Living Stream Ministry